

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団
2022年度 現代美術の翻訳助成
募 集 要 項

日本の現代美術の現状と多様性を国際的に広く、正確に、紹介・周知するために、同分野での質の高い翻訳を支援する助成プログラムです。日本のアーティストや作品、展覧会等の情報やテキストの英訳を対象とし、日本の現代美術に対する国外からの関心や評価への対応や、日本からの海外発信が効果的かつ活発になることを目指します。

1. 助成目的

本助成は、日本の現代美術に関する日本語のテキスト、資料等の良質な英語翻訳を支援し、日本の現代美術の現状と多様性を国際的に、広く、正確に、紹介・周知することを目的とします。

2. 応募資格

現代美術分野で活動する個人または団体

※法人格は問いません。

※今年度、当財団の他の助成事業に採択されている申請者は対象外となります。

3. 助成対象

日本の現代美術に関する日本語のテキストの英語への翻訳費用

助成対象となる内容:

- ・アーティストファイルやステートメント等のアーティスト資料
- ・映像作品等に付随する字幕
- ・作品や展覧会に関係するテキスト類(作品解説文、図録用テキスト等)

※英語のネイティブ・スピーカーによる校閲・校正を工程に含むことが助成条件となります。翻訳者が英語のネイティブ・スピーカーである場合も、校閲・校正は必須とします。

※翻訳文は文化庁アートプラットフォーム事業のウェブサイトにて公開されているStyle Guideに準拠することを推奨します。

Style Guide (PDF)

[https://contents.artplatform.go.jp/wp-](https://contents.artplatform.go.jp/wp-content/uploads/2021/02/CACJ_translation_project_20210224.pdf)

[content/uploads/2021/02/CACJ_translation_project_20210224.pdf](https://contents.artplatform.go.jp/wp-content/uploads/2021/02/CACJ_translation_project_20210224.pdf)

※翻訳の成果物としては、印刷物のほか、オンライン媒体も含まれます。

※すでに著作権者(著者)から翻訳の同意を得ている、もしくは契約を交わしていることが条件となります。

※英語から日本語への翻訳料、また、通訳料は対象外です。

4. 助成金額

助成予算総額: 1,000万円(予定)

1件につき30万円から200万円(予定)

5. 助成対象期間

2023年1月から2023年12月末までの1年間

上記期間内に翻訳作業を開始し、完了することが条件となります。翻訳文の成果物の発行、掲載、発表はこの期間を過ぎても構いません。

6. 助成金の使途

日本語から英語への翻訳に係る費用(校閲・校正費を含む)

※助成金交付額は申請額を上限とします。また、実際の支出額が申請額を下回った場合は実際の支出額が上限となります。

※翻訳者との通信費、会議費、資料費は対象となります。

※翻訳物の出版費、印刷費は対象外です。

7. 募集から助成金交付までのスケジュール

- 1) 募集期間: 2022年9月7日(水)～2022年10月13日(木) 12時(正午)締切(厳守)
- 2) 審査・採否通知: 2022年12月下旬(予定)。審査終了後、結果通知。
- 3) 翻訳開始～助成対象期間内に翻訳完了
- 4) 報告書提出: 申請した翻訳業務終了後、30日以内に活動報告書、会計報告書、翻訳文を提出
- 5) 事務局及び選考委員会にて提出物の確認と助成交付額の決定
- 6) 助成金交付時期: 活動報告書、会計報告書と翻訳文を提出後60日程度(予定)

8. 申請方法

電子申請システムでの申請をお願いいたします。

【提出書類】

- ① 申請者情報: システムのフォーマットに従い入力。
- ② 申請書: WORDの様式をダウンロードし、入力後、PDF形式でアップロード。
- ③ 翻訳費及び校閲・校正費見積書: 翻訳費と校閲・校正費の概算見積りを添付。
- ④ 任意添付資料: PDF形式でアップロードしてください。
 - ・活動履歴書(CV)
 - ・翻訳者の翻訳実績が分かる資料: 申請する翻訳を請け負う翻訳者の過去の成果物

<注>

- ・ 郵送、持ち込みによる申請は受け付けておりません。
- ・ 申請に係る費用は申請者をご負担ください。
- ・ 提出書類は返却いたしません。
- ・ 電子申請システムは操作に時間がかかる場合があります。時間には余裕をもって申請を行ってください。

9. 審査・選考、採否通知

1) 審査・選考方法

当財団の文化・芸術分野の選考委員及び必要に応じて選出した有識者で構成する選考委員会において審査・選考を行います。

2) 審査項目

- ① 日本の現代美術を海外へ広く、正確に、紹介・周知する成果が見込まれるか
- ② 翻訳、校閲、校正のプロセスを踏まえた質の高い翻訳の実現性
- ③ 成果物の配布・発表計画の確実性

3) 採否の結果

審査・選考後、申請者全員にメール及びマイページ上にて通知します。

<注> 審査内容や採否結果の詳細に関するお問い合わせには対応しかねます。ご理解のほどお願い申し上げます。

10. 進捗状況報告

事業の進捗状況を報告いただくため、順次、フォローアップミーティング（Zoom会議）を開催することを予定しております。実施予定については事務局からご連絡いたします。

11. 報告書提出

1) 報告内容と提出期限

① 翻訳完了後30日以内に提出

- ・ 本助成によって達成できたこと、助成によって得られた効果、将来への展望などに関する「活動報告書」(様式あり)
- ・ 助成金の使途に関する「会計報告書」(様式あり)と証拠書類(証憑)のコピー
- ・ 翻訳文(日本語原文と翻訳した英文)

※提出物を事務局及び選考委員会にて確認し、助成交付額を決定します。

※会計報告書では、翻訳費のほか、校閲・校正費の明細(金額・委託先名)の報告が必須となります。

② 翻訳作業完了後3ヵ月以内、遅くとも2024年3月末までに提出

成果物として、英訳を掲載した印刷物や電子媒体等を提出。

2) 提出方法

電子申請システムにて提出。成果物が印刷物である場合は郵送。

12. 助成の公表について

助成採択者の団体名・代表者氏名を、当財団ウェブサイトや刊行物等に公表しますので、予めご了承ください。

また、助成を受けた翻訳の成果物には、当財団の助成を受けた旨を明記し、ロゴを掲載してください。

13. 著作権

本助成に関わる成果物の著作権は、すべて助成対象者に帰属します。

なお、当財団が本助成プログラムの広報資料や発行物を制作する際に、事前に許可を得て、報告書等に掲載された文章や画像を使用させていただくことがあります。

14. 個人情報の取り扱い

申請書に記載されている個人情報は、本助成プログラムの選考および結果の通知のために使用し、その他の目的に使用することはありません。当財団で厳重に管理いたします。

15. 資格の取り消しと助成金の返金

- 1) 虚偽の申請内容が確認された場合、申請資格を取り消します。
- 2) 助成金受給後、申請内容に虚偽の事実が判明した場合、助成を取り消し、返金を求めます。
- 3) 所定の期間内に報告書の提出がない場合は、返金を求めることがあります。

15. 確約

申請者は、反社会的勢力と関係する者ではないこと。

以上、本募集要項のすべての内容を確認・承知したうえで申請してください。申請についてご不明点等ございましたら、下記当財団事務局までE-mailでお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団 事務局

E-mail: contact-arts@ogasawarazaidan.or.jp

事務局営業時間：9:00～17:00(月～金)

※土・日・祝日、年末年始、夏期などの特別休暇を除く

〒108-8522 東京都港区芝5丁目36番7号 三田ベルジュビル20F 株式会社ニフコ内

URL: <https://ogasawarazaidan.or.jp>

以上